

定住自立圏  
中心市宣言書

平成21年 8月24日

愛知県西尾市

## 定住自立圏中心市宣言

地方は今、少子・高齢化、人口減少、都市部への人口流出、地域経済の低迷など大きな課題に直面しています。地方自治体はこれらの課題を自覚し、住民との協働を図りながら、自立した地域社会を形成していかなければなりません。

本圏域は、海・山・川に囲まれた豊かな自然環境を背景に、歴史・文化資源、産業資源などの多様な地域資源を有し、着実に発展してきました。

しかしながら、昨年の米国発の金融危機に端を発する景気の急激な低下、少子・高齢化など、本圏域を取り巻く環境は、大変厳しいと言える状況です。これらの状況を乗り越え、本圏域がさらなる発展をとげるためには、これまで以上に緊密な協力・連携を図り、地域の住民が安心して暮らせる地域づくりが必要です。

本市は、西三河南部地域の中心的な都市として、税務署、公共職業安定所、法務局などの行政機関や、保健所、警察署の県の行政機関、地域医療の核となる医療施設、大型店舗を始めとする各種商業施設、高等学校、専門学校、図書館、博物館を始めとする教育・文化施設など一定の都市機能を有しております。

一方、近接する三町から本市には通勤・通学において一定割合以上の住民の移動があり、これまでも本市の行政機関、医療施設などの都市施設を共有している関係にあります。

本市は、定住自立圏の形成を目指す中心市として、従来から手を携えてきた一色町・吉良町・幡豆町をはじめ、連携する意思を有する周辺自治体とも関係を緊密にし、共通課題の解決や地域の発展に向け努力していく決意です。この地域が持つ魅力や民間活力を最大限に活かしながら、安心して暮らせる圏域の形成を目指します。これにより、圏域住民がこの地域に定住するために必要な機能の確保を図り、もって圏域の発展と住民福祉の向上を目指していくことをここに宣言いたします。

平成21年 8月24日

愛知県西尾市長 榊原康正

## 1 都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、商業・娯楽機能、教育・文化機能、その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は、概ね以下のとおりであり、定住自立圏を形成する中心地域としての機能が確保されている。

分野	都市施設	施設名
医療・福祉	医療	西尾市民病院、保健センター
	民間病院	西尾病院、山尾病院
	福祉施設	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、有料老人ホーム、高齢者グループホーム、放課後児童クラブ、障害者活動支援センター、知的障害者授産施設、児童館、シルバー人材センター、ファミリーサポートセンター、にしおボランティア市民活動センター、
	相談施設	家庭児童相談室、母子相談室
教育	高等学校	西尾高等学校、西尾東高等学校、鶴城丘高等学校
	専門学校	市立看護専門学校、西尾高等家政専門学校、西尾幡豆医師会准看護婦学校
	図書館	市立図書館
文化・観光・娯楽・健康スポーツ	文化施設	文化会館、資料館、歴史公園、岩瀬文庫
	観光・娯楽施設	観光案内所、歴史公園、平原の滝、平原ゲンジボタルの里、憩の農園、バラ園、稲荷山茶園公園、いきものふれあいの里、ハツ面山公園
	健康スポーツ施設	西尾公園総合グラウンド、総合体育館、中央体育館、鶴城体育館、ホワイトウェイブ 21、古川緑地、善明市民運動広場、矢作川西尾緑地、グラウンドゴルフ 23
交通	公共交通	名鉄西尾線、名鉄東部交通路線バス、コミュニティバス
	都市幹線道路	国道 23 号、国道 23 号バイパス、国道 247 号
	港湾施設	寺津漁港
消費・金融	大規模店(1,000㎡以上)	パレマルシェ西尾、おしろタウンシャオ、カーマ、ミカ、タキソウ、下村家具、ヤマナカ下町店、ホームエクスポ、ペットエクスポ、スギ薬局住崎店、ファッションセンターしまむら、ドミー寺津店、アオキ西尾店、ゴルフ 5、フィールいつも
	金融機関等	銀行・信用金庫等(34 店舗)、郵便局・簡易郵便局(12 店舗)
その他官公署など	国の機関	西尾税務署、名古屋法務局西尾支局、西尾公共職業安定所、岡崎労働基準監督署西尾支署
	県の機関	西尾警察署、西尾保健所、西三河建設事務所西尾支所、矢作川浄化センター
	その他の機関	西尾商工会議所、西三河農業協同組合、西三河漁業協同組合西尾支所、幡豆水利事務所

## 2 周辺自治体住民の本市都市機能の利用状況

### (1) 医療機関

#### 【市内の医療体制】

	施設名	病床数	診療科目数	救急告示病院
公立病院	西尾市民病院	400	16	
私立病院	西尾病院	199	11	
	山尾病院	60	5	
診療所	67箇所			

#### 【西尾市民病院の地区別患者数】（平成20年度）

< 外来患者 >

	患者数(人)
西尾市	147,705
一色町	29,947
吉良町	31,515
幡豆町	13,934
その他	28,060
計	251,161

< 入院患者 >

	患者数(人)
西尾市	63,900
一色町	15,344
吉良町	16,799
幡豆町	9,429
その他	14,782
計	120,254

### (2) 高等教育（平成21年4月1日現在）

#### 【高等学校】

学校名	学 科	生徒数				教員数
		合 計	西尾市在住	幡豆郡在住	その他	
西尾高等学校	普通科	960	398	193	369	57
西尾東高等学校	普通科	955	532	255	169	55
鶴城丘高等学校	総合学科	718	498	132	88	67

#### 【専門学校】

学校名	生徒数				教員数
	合 計	西尾市在住	幡豆郡在住	その他	
市立看護専門学校	120	38	23	59	10
西尾高等家政専門学校	59	24	14	21	20
西尾幡豆医師会准看護学校	68	13	5	50	6

### (3) 文化施設

西尾市を代表する文化施設は、収容人数1,800人の大ホールを備えた西尾市文化会館があり、さまざまなイベントが開催されている。西尾市民だけでなく、幡豆郡3町はじめ他地域からも多数のかたが訪れている。地域を越えた人々の交流の場となっている。

#### 【西尾市の文化施設】（平成19年度）

施設名	区分	収容人員(人)	利用日数	利用者数(人)
文化会館	大ホール	1,217	127	68,817
	小ホール	352	130	19,997
合計		1,569	257	88,814

### (4) 商業施設

西尾市の小売業商品販売額は、当圏域の小売業商品販売額の72.58%となっており、高い集中率を示しています。

		小売業商品販売額	
		金額(万円)	割合
構成市町	西尾市	11,206,435	72.58%
	一色町	1,497,356	9.70%
	吉良町	2,036,906	13.19%
	幡豆町	698,604	4.52%
	合計	15,439,301	100.00%

資料：平成19年商業統計

### (5) 公共交通

#### 【名鉄西尾線の市内5駅の乗車人員】（平成19年度）

	年間(千人)	1日平均(人)
米津駅	249	682.19
桜町前駅	411	1,126.03
西尾口駅	50	136.99
西尾駅	1,791	4,906.85
福地駅	105	287.67
合計	2,606	7,139.73

### 3 周辺自治体と連携することを想定する取組

周辺自治体と連携する項目としては、次のような取組を想定する。

視 点	分 野	取組内容
生活機能の強化	教 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育・文化・スポーツ施設等に圏域内住民の相互利用や広域的活用を図る。</li> <li>・ 中心市に拠点図書館を整備し、周辺図書館との相互利用を可能にするなどネットワークの構築を図る。</li> <li>・ 不登校や問題行動等のある児童、生徒の支援体制、拠点整備</li> </ul>
	医 療	西尾市民病院を中心として、西尾病院など民間病院とも協力し、病々連携、病診連携を図り、救急医療体制の充実、さらに休日診療所施設の整備をする。また、高齢者患者の増加に対応するため、新たなリハビリ病院の建設を目指す。
	福 祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援センター等の支援施設の整備</li> <li>・ 高齢者や要介護者等の支援体制の整備と施設の充実</li> </ul>
	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地場産業を活かした地域産品の発掘とブランド化</li> <li>・ 新産業やコミュニティービジネスの創出</li> <li>・ 観光振興による地域産業活性化のため、圏域内には、三河湾国定公園があり、風光明媚な自然など観光資源があるので、これを活用し、新たな観光ルートの開拓、PRによる都市部からの人の流れの創出</li> </ul>
	企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元企業の拡張や新たな企業誘致のためのオーダーメイド開発により、圏域内住民のための雇用の場の創出と自主財源の確保</li> </ul>
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域内で協力して、エコ活動を推進し、圏域内の環境を守る活動をする。特に企業と協力して、豊富にある水や風を活用するエコ発電に取り組む。</li> </ul>
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、存続が議論されている名鉄西尾・蒲郡線の運行維持確保。</li> <li>・ 鉄道・バスを中心とした地域公共交通の利便性の向上。</li> </ul>
	道路等の交通インフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域内の交流を促進するため、名浜道路を始めとする、生活幹線道路網の整備。</li> </ul>
	地域の生産者・消費者等の連携による地産地消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年中に完成する、「道の駅」にしお岡ノ山(仮称)に設置される地域振興施設を始めとする、地産地消の拡大に向けた圏域内での取組推進、圏域内外での地場産品のPR実施</li> </ul>
	地域内外の住民との交流・移住促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験型観光の商品化による地域外住民との交流や定住促進化に向けた情報集積</li> <li>・ 圏域内の積極的な住宅を始めとする各開発事業</li> </ul>

圏域マネジメント 能力の強化	中心市等における人材の育成	・ 専門的知識を有する外部人材を確保し、今後の地域の発展を担う人材の確保及び資質向上のための研修会開催と支援体制の整備
	圏域内市町職員等の交流	・ 圏域内職員等の交流促進による連携強化と能力向上を図る
	電算システムの共同利用	・ 電算システム等の共同利用を推進することにより、重複するシステム開発費を削減するとともに、開発できる人材を育成する。

#### 4 西尾市への通勤通学割合

西尾市への通勤通学割合が10%以上である市町の名称

	本市に就業する就業者・通学者数(A)	常住就業者・通学者数(B)	通勤通学者割合(A)/(B) %
一色町	2,820	14,394	19.59%
吉良町	2,579	13,353	19.31%
幡豆町	973	7,778	12.51%